会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（菱沼小和田自治会）
2　日時	平成 30 年 9 月 8 日（土）13：30～14：30
3　場所	小和田地区コミュニティセンター
4　出席者	（資源循環課）森岡担当主査、小田副主査 （環境事業センター）小川所長補佐、安齋担当主査 （菱沼小和田自治会）参加人数：27 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●有料化について、他の自治会の意見や動きを教えてほしい。 →ごみの有料化に対しては賛否両論あり、どちらとも言えない状況である。 ●なぜ有料化にするか。 →有料化は、ごみの減量化などを図ることができる有効な施策と考えているが、必ずしも行わなければいけないものではないため、市民の皆さまからご意見をいただきながら方針を決定したいと考えている。 ●寒川町や藤沢市は、既に有料化になっているが、茅ヶ崎市の有料化案はどのようなものか。 →導入の可否を検討している状況であるため、具体的な内容をお示しすることはできないが、仮に有料化を導入した場合は、他市との差異が少ない内容になることが考えられる。 ●有料化となった際は、ペール缶出しの戸別収集を希望する。 ●戸別収集となった場合は、非自治会員は、個人或いは集合住宅単位で処理すればよいか。 →各戸及び集合住宅単位でごみを出してもらうことになる。 ●私有地に生ごみ集積場所を設けてよいか。 →現在、燃やせるごみについては、約 8 世帯で 1 箇所の集積場所を設けるようお願いしており、その土地の所有者の了承が前提となるが、約 8 世帯の利用であることや収集作業等に支障がなければ、私有地であっても設置は可能である。 ●有料化となった場合、指定の袋を使用せずに出されたごみは誰が処理するか。 →排出者が処理するべきものであるが、放置され続けた場合は、公衆衛生上の問題が発生することから、公平性の観点も十分に踏まえたうえでの対応を検討していきたい

	と考えている。 ●有料化を実施するなら戸別収集も一緒に実施してほしい。 ●指定袋は複数のサイズを用意してほしい。 ●分別の資料をもっと詳しく作製し、ごみの減量に努めてほしい。 ●資源物は、約 30 世帯で１箇所の集積場所とされているが、集積場所によっては資源物が溢れかえっている場所がある。出している世帯数が分からないので、実際は、30 世帯以上が使用している可能性もある。現状を考慮して、集積場所を増やすことを検討してほしい。 ●戸別収集となった場合のカラス対策を教えてほしい。 →各家庭で、ポリバケツやネットなどによるカラス対策を行っていただいている状況である。 ●黄色は有効であると聞いたが、茅ヶ崎市は指定袋の色は何色を検討しているか。 黄色は、カラス対策に有効であるという声の一方、有効でないという意見もあり、有料化を導入した場合の指定袋の色については検討中である。 ●指定袋を使用せず、直接ポリバケツにごみを入れてもよいか。 →ポリバケツに直接ごみを入れた場合は収集できない。有料化の対象としたごみにおいては、指定袋で排出する必要がある。 ●有料化を導入している県内４市のうち、逗子市が飛びぬけて減量化に成功しているが、その理由について分析をしているか。 →逗子市については、戸別収集を実施していないので、ごみの減量は、有料化の成果によるものと考えられるが、有料化とは別の減量対策の有無を確認していないため、有料化だけの成果によるものなのかは説明できない。確認を行ったうえで皆さまにお示しさせていただきたい。 ●市町村が合併してごみ処理を行えば、ごみ処理経費の削減に最も効果があると思うが、そのような動きはあるか。 →合併の動きはないが、茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の２市１町で東ブロックとして広域処理を実施している。 ●資源物の分別が分かりにくいので、もっと分かりやすく冊子を作製してほしい。

	●知ってる？紙の分別が分かりやすいので、市民に配布した方がよい。 ●自治会で、カラスいけいけネットボックスの購入を検討しているが、戸別収集になったら使用できなくなるか。 →仮に戸別収集を実施するとなった場合であっても、その周知を行う必要があることから、時間をかけて導入することとなるため、導入までの間は使用することが可能であると考えている。また、資源物を戸別収集の対象外とした場合は、引き続き、資源物は集積場所での収集となるので、そこでネットボックスを利用することができる。 ●有料化については不法投棄が懸念されるし、戸別収集については、道路が狭いため徒歩で収集を行う必要があることが考えられるので、対策は事前に検討する必要がある。 ●当自治会において、２組はポリバケツを使用してごみ出しを行っているが、市としてバケツでのごみ出しを認めているか。 →市内では、カラス対策として、ポリバケツを使用している集積場所はある。 ●ごみの減量について、具体的に何を実施すればよいか。 →特にお願いしたいこととしては、紙類の資源化に取り組んでほしい。 ●メーカの過剰包装やプラスチックの多用について、市として対策はできないか。 →市町村が集まる会議等において、国や県に意見ができる場があるので、その場において今後も働きかけていきたい。 ●雑紙について、シュレッダーをかけていない場合、個人情報が漏洩することはあるか。 →シュレッダーをしていただいたほうがよい。個人情報が心配なものについては、環境事業センターに自己搬入をすることも可能である。 ●戸別収集となった場合は、収集時間についても検討してほしい。 以上